

令和2年度【学校教育目標】

心身ともに健康で、
知・徳・体の調和のとれた生徒の育成

～自ら学び考え、仲間と共に自己を高めようとする子どもの育成～

☆新しい時代を切り拓く「志」を持ち、「つながり」を大切にする学校を目指して

<目指す生徒像>

- に 人間味にあふれた生徒
- し 辛抱強く取り組む生徒
- が 学習意欲の旺盛な生徒
- も 目標を追い続ける生徒

<目指す教職員像>

- 豊かな人権感覚をもち、生徒一人ひとりを徹底的に大切にする教職員
- 自己の資質・指導力の向上に励み、確かな学びを保障する教職員
- 教育に携わる職責と使命を自覚し、自らの働き方を意識し改善できる教職員

<目指す学校像>

- 明るく活気にあふれ、生徒にとって安心・安全な学校
- 学ぶ楽しさ・わかる喜びを実感させ、夢と希望が語れる学校
- 生徒・保護者・地域の願いを的確にとらえ信頼される学校

【本年度の学校経営方針】

- (1) 生徒理解に努め、生徒一人ひとりを徹底的に大切にし、学校がすべての生徒にとって安心・安全に生活できる場となるように全力をつくすこと。
- (2) あらゆる場面で生徒の自己指導能力を育み、自己有用感や自己肯定感を向上させ、自他を大切にする態度を育成するとともに、予防的・開発的生徒指導をすすめる、いじめや不登校を未然に防止すること。
- (3) 教職員同士が相談しやすい風通しのよい職場づくりに努め、同僚性を向上させるとともに、「報告・連絡・相談」さらに調整・確認を徹底し、組織対応できるよう取り組むこと。
- (4) すべての教職員が、カリキュラム・マネジメントの視点の下、PDCAを意識し、学びの質を重視した授業改善に努める。また、生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を身につけることができるよう「キャリア教育」の充実を図ること。
- (5) 生徒と向き合う時間を確保し、いきいきとやりがいを持って働くことができる環境をつくる。また、仕事の効率化や行事の精選を行い、働き方を見直し、超過勤務縮減を目指すこと。
- (6) 西賀茂中学校区を基盤に、学力向上や生徒指導、特別支援に関する実態や課題を踏まえて小中一貫9年間を見通した学習指導・生徒指導の推進を図ること。
- (7) 学校運営協議会やPTAとの連携を進め、「開かれた学校づくり」を着実に推進していく中で、学校・家庭・地域との相互の信頼関係を強化していくこと。

【本年度の重点課題】

＜知（確かな学力）＞

- ① 基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、課題の発見・解決に向けて、主体的・対話的な学びを重視した授業により、学びに向かう力を向上させる。また、支援教育の視点からすべての生徒に「わかる授業」を提供できるよう授業改善に努める。
- ② 授業のはじめには「学習のねらい」を明示し、授業中には「生徒が考える（活動する）場面」をつくり、授業の終わりには「振り返り（できれば生徒の言葉）」を行う。
- ③ 授業と連動した課題の内容と提示方法に工夫・改善を行い、自主的な家庭学習の定着を図る。

＜徳（豊かな心）＞

- ① 教育活動全体を通じて道徳教育を推進する。特に、「考え、議論する道徳」を実践する。
- ② あいさつの励行、学習規律の徹底を図り、規範意識の育成を図る。
- ③ 生徒相互が他の人の良さを認め、自尊感情を高め、主体的・自発的な活動を重視した学級経営、生徒会活動を行う。

＜体（健やかな体）＞

- ① 「部活動ガイドライン」に基づき、適切な休養日や活動時間を設けて安全で充実した活動を実践するとともに、怪我などの予防に努める。
- ② 防災教育等の安全教育の充実、酒・喫煙・薬物乱用など指導の徹底を図る。
- ③ 「早寝・早起き・朝ごはん」を推進し、基本的生活習慣の確立と生活リズムの向上を図る。